

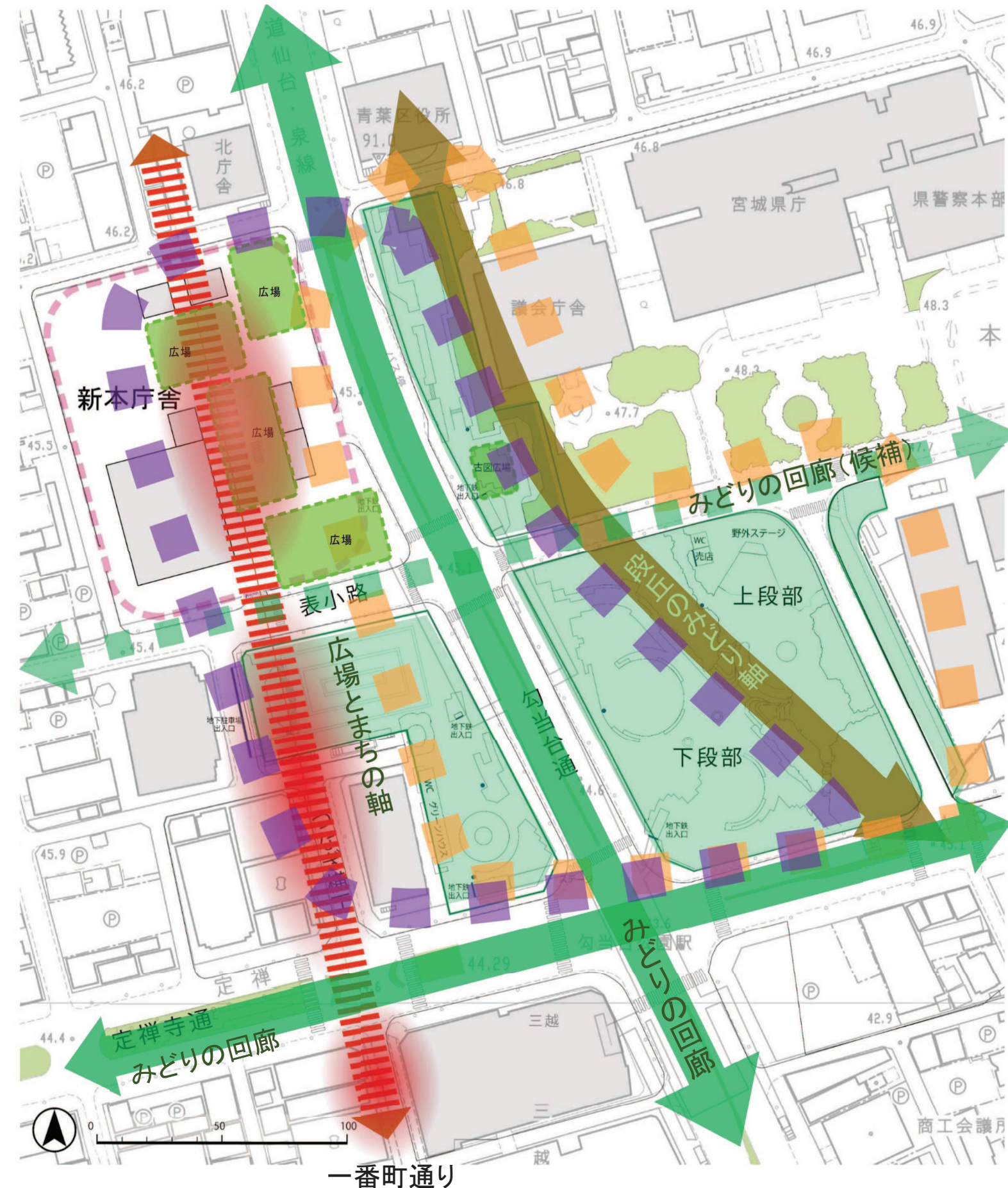
④ 再整備の方向性

目指すべき姿を実現するための再整備の方向性を整理した。

- 1. 仙台ブランドの発信拠点**
  - ◇新本庁舎低層部等と連携した大規模イベント空間の形成
  - ◇杜の都のブランドに寄与する統一されたデザインの導入
  - ◇杜の都らしさの豊かな緑(保存樹林、河岸段丘)と文化の継承
- 2. 多彩な市民活動による交流と創造の場**
  - ◇新本庁舎低層部や周辺公園広場との連携と分担
  - ◇多様な市民活動を展開できる広場の再配置・機能拡充
  - ◇広場と周辺民間ビルとが調和した空間の形成
- 3. 都心のサードプレイス**
  - ◇親しみやすく開放感のあるデザインの導入
  - ◇くつろぎや賑わいを創出する都心部の芝生広場形成
  - ◇憩いの空間を創出する植栽・照明デザインの導入
- 4. みどりの回遊拠点**
  - ◇回遊性を高めるエントランス機能の確保
  - ◇歩道と連続したみどりの空間の形成
  - ◇滞留性を高める施設の導入
- 5. エリアマネジメントの展開**
  - ◇周辺施設と連携したエリアマネジメントの検討
  - ◇P-PFI を活用した民間企業との連携
  - ◇公園活動団体設立の検討

- 公園全体に共通する再整備の方向性**
- (1) グリーンインフラのモデル公園**
    - 都心部での暑熱緩和や雨水浸透機能、生物多様性の保全等に寄与するモデル公園とする
  - (2) ユニバーサルデザインの導入**
    - 年齢や国籍、障害の有無などにかかわらず、すべての人が集い、憩い、楽しむ公園とする。
  - (3) 都心の防災機能強化**
    - 都心部での避難場所や新本庁舎と連携した被災者支援の場とする。

勾当台公園再整備基本構想図



**【凡例】**

- : 都心部のみどりの回廊 (候補路線含む)  
 勾当台通・定禅寺通の都心部の緑の回廊による人流・景観軸
- : 広場とまちの軸  
 一番町商店街・つなぎ横丁から新本庁舎へつなげる空間軸
- : 段丘のみどり軸  
 都心に残された河岸段丘の崖面による景観軸
- : にぎわいゾーン : (新本庁舎・表小路・にぎわい広場～いこいの広場下段部)
- : いこいのゾーン : (新本庁舎・歴史の広場・宮城県庁～いこいの広場上段部)
- : 勾当台公園区域



⑤ 再整備のイメージ  
□全体鳥瞰パース



このパースは基本構想最終案段階での整備イメージを表すものであり、今後の検討により変更になる場合があります。